

第3回委員会意見概要と対応

【再整備方針に係るご意見】

(1) 高松塚周辺地区再整備方針の基本的な方向について

No.	意見概要	対応
1	○「1)高松塚周辺地区再整備の基本的な方向」について、①、②、③と文章で書かれているが、それぞれ見出しを付けて整理すべき。	<ul style="list-style-type: none"> 再整備方針について、 1) 高松塚周辺地区再整備の位置づけと課題 2) 高松塚周辺地区の再整備方針 3) 方針実現に向けての具体的な取組 という構成にしました。 <ul style="list-style-type: none"> 「検討委員会の指摘」という記載は削除し、指摘事項は再整備方針の記述各所に反映しました 頂いたご意見を②課題に反映するとともに、課題に挙げた(1)、(2)、(3)が、再整備方針の「方針Ⅰ」、「方針Ⅱ」、「方針Ⅲ」に結び付くよう再整理しました。
2	○③は「検討委員会の指摘」として記載されているが、 <u>委員会の意見はここだけではなく、再整備方針全体に反映されている</u> のだから、ここだけ委員会の指摘と書くのはおかしい。	
3	○「1)高松塚周辺地区再整備の基本的な方向」で挙げた事項が、「2)高松塚周辺地区再整備方針」にどう繋がるのかという論理が欠けている。②の課題では、老朽化など避けられない課題や、世界遺産登録などの外的な条件に加え、 <u>5つの主要機能が、相互に密接に関係し機能していないためストーリーが伝わらない</u> という課題や、 <u>ゲートウェイ機能も十分に発揮できていない</u> といった課題を書くことで、その後の「2)高松塚周辺地区再整備方針(方針①、方針②)」につながるのではないかと。	

(2) 高松塚周辺地区再整備方針(方針①、方針②)について

No.	意見概要	対応
4	○方針①と方針②の関係性が分かりにくいと感じた。方針①は高松塚周辺地区県道西側エリアの方針を示している、方針②は公園全体の方針を示していると理解したが、その <u>関係性が示せると良い</u> 。	<ul style="list-style-type: none"> 再整備方針について、 1) 高松塚周辺地区再整備の位置づけと課題 2) 高松塚周辺地区の再整備方針 3) 方針実現に向けての具体的な取組 という構成にしました。 <ul style="list-style-type: none"> 頂いたご意見を踏まえ、重複が無いよう再検討し、再整備方針の「方針Ⅰ」、「方針Ⅱ」、「方針Ⅲ」を設定しました。 実施内容は方針にぶら下がるかたちでは無く、具体的な取組としてまとめて記載する構成としました。あわせて、方針Ⅰ～Ⅲと具体的な取組の対応関係を対応図で明示しました。 「再整備するにあたって留意するポイント」は、具体的な取組等に含めて記述するよう再整理しました。 頂いたご意見を踏まえ、「方針Ⅰ」の記載内容を再考するとともに、「歴史体感ストーリーづくり」や「ランドスケープの形成」を方針Ⅰの解説として記載しました。
5	○ <u>方針①と②に内容がオーバーラップしている</u> 。特にゲートウェイ機能や、地区全体の繋がりについての記載について重複が多い。方針①と方針②で書かれている内容は基本的には同じで、違いはエリアのスケール感の違いということではないかと。	
6	○方針①の内容はあくまで「方針」なので、「施設の再整備を行う」という書き方ではなく、「 <u>機能の向上を図る</u> 」などが適切ではないかと。	
7	○方針①は、「遺跡・文化財についての理解促進とゲートウェイとしての機能向上」となっているが、 <u>ゲートウェイ機能の説明文に再度「理解促進」という言葉があり、入れ子構造となっている</u> 。「理解促進」がゲートウェイ機能にも含まれるのであれば、方針①は「ゲートウェイ機能の向上を図る」とすれば良いと思う。	
8	○方針①②の下にひし形の見出しで記載されている内容が、 <u>機能の説明なのか具体的な整備内容なのかヒエラルキーを統一</u> できると良い。方針部分に機能向上を図る旨を記載し、ひし形では具体的な整備内容を記載してはどうか。	
9	○方針①②の下のひし形の見出しと、その後に出てくる「再整備するにあたって留意するポイント」の関係が分かりにくい。さらに P31 で「留意すべき事項」が出てくるなど、 <u>全体の構成が整理されていない</u> 印象を受ける。	
10	○外国人観光客が、この場所が日本の歴史上重要な場所であると理解できても、残されているものは古墳だけなので、「形」だけで満足してもらうのは難しいと考えている。日本の古来の死生観に基づく古墳は、自然に還ることを前提に作られていて、それは「 <u>自然と人の命が一体化している</u> 」という考えを感じてもらえると良い。	
11	○民族の価値観が最も現れるのが葬送儀礼とお墓のあり方だと思っており、日本人らしい価値観が表現されたお墓のあり方や、死の捉え方、見送り方、死後の世界について伝えることができれば、それを飛鳥の風景から感じてもらえるものがあるのではないかと。こうした <u>日本的な価値観が静かに深く伝わる場所</u> になれば良いと思う。	
12	○方針の中で「 <u>歴史的風土を体験頂ける等、魅力を向上させる</u> 」と表現されているが、 <u>このような表現では十分に伝わりにくい</u> 。この場所でじっくり歴史的風土を味わったり、その価値を外国の方でも分かってもらえるような仕掛けの必要性の表現がちょっと薄いと思う。	
13	○「魅力向上」といった計画的な言葉で書くと弱くなってしまうが、風土を味わう、滞在性を高めるなど、ここでどれだけ時間をかけて、どれだけこの場所を味わってもらうかという観点で、ここで <u>ゆったりとした時間を過ごすという概念を組み込めると良い</u> 。	
14	○方針②は、里山的な環境の中で徐々に自然に還っていくような「古墳」の存在する公園として、 <u>どのようにランドスケープを整えて体験いただくかといった視点で記述できると良い</u> 。	
15	○方針①②の順番について、ストーリー性など深い話につながるは方針②かもしれないので、こちらが前になる可能性もある。 <u>方針①②そのものの再考とあわせ、引き続き検討してほしい</u> 。	

(3) 「持続的な運営管理」および「今後の取り組みにあたって留意すべき事項」について

No.	意見概要	対応
16	○「3)持続可能な管理運営に向けての取組み」と、「4)今後の取り組みにあたって留意すべき事項」について <u>内容がオーバーラップしているため、3)、4)を一体的に整理</u> したほうが分かりやすいかもしれない。または、3)は公園内、4)は公園内だけで完結しない地域との連携に関する内容とするなど、明確に分類できると良い。	<ul style="list-style-type: none"> 「3)持続可能な管理運営に向けての取組み」と、「4)今後の取り組みにあたって留意すべき事項」を統合し、「(3)管理運営のために再整備と合わせて実施する取組」として再整理しました。
17	○再整備方針で決めた整備内容や管理運営方法をずっと続けるのではなく、社会情勢や利用者ニーズの変化に応じて、実施内容を見直す、 <u>順応的な管理運営(アダプティブマネジメント)</u> を行っていくべきであることをどこかに明記できると良い。	<ul style="list-style-type: none"> 頂いた意見を「⑥ニーズの変化に応じた順応的な管理運営」として反映しました
18	○「 <u>順応的な管理運営</u> 」は大変大事なキーワードだと思う。変化し続けるニーズに対応するためにも、順応的な管理運営ができるとよい。	
19	○ <u>経費削減のために民間に任せるとするのは本質的でない</u> 。サービスの質の向上と管理コストの削減を目的として、民間活力の導入の効果を考えるべきだと思う。	<ul style="list-style-type: none"> 頂いた意見を踏まえ「②民間のノウハウの活用」として反映しました。
20	○「ゲートウェイとしての機能向上」については、 <u>ゲートウェイ機能を持ちうる施設として、飛鳥駅周辺の施設等も想定される</u> ため、複数のゲートウェイで役割分担していくことを今後の取組みとして記載できると良い。	<ul style="list-style-type: none"> 飛鳥駅周辺の施設との連携を方針Ⅱに明記するとともに、広域的な取組を図示しました。

【その他のご意見】

No.	意見概要	対応
21	○案内・展示の基本的考え方として、 <u>外国人向けの大所高所的な視点での解説があると良い</u> 。例えば、「飛鳥時代とは」、「文化財とは」等、我々が常識として知っていることも、分かりやすく解説できると良い。	・頂いた左記のご意見については、今後実施する施設の再整備設計、展示設計等の中で反映していくものとします。
22	○海外の例では良くみかけるが、「私たちは文化財や歴史・風土の保全に取り組んでいます」といったように、 <u>保全に向けてどのような考えでどのような活動をしているか主張するような展示も必要</u> と考える。	
23	○施設の内容を充実させるためには、 <u>インタラクティブな要素や体験型の展示</u> を取り入れることが重要だと考えている。	
24	○施設を作って終わりにせず、 <u>常にニーズに応じてアップデートしていく</u> 必要があると考えているが、デジタルコンテンツであれば更新が容易ではないか。また、AIなどの最新の技術を活用すれば、より細かく利用者ニーズを分析できると考えている。	
25	○展示に係る技術はどんどん進化おり、3～5年後にはまた状況が変わっていると思うので、 <u>アップデートのための体制を方針に組み込んで欲しい</u> 。	
26	○「ユニバーサルデザインへの配慮」については、同じような「 <u>インクルーシブ</u> 」という概念が提唱されているが、必要に応じてそのような考え方を取り入れるべきではないか。	
27	○駐輪場や休憩施設、サイン類といった広域周遊にも関わる施設については、当地区だけでなく、 <u>国営公園各地区や飛鳥地方全体で、統一的な考え方でデザインしていくべき</u> である。	
28	○樹木の管理については、伐採反対意見等が出ることもよくあるので、適切に説明できるよう <u>伐採や更新の考え方を論理的に整理しておく</u> と良い。	
29	○施設等の整備にあたっては、 <u>キャッシュレスを前提とした利用</u> に対応することを、最初からしっかり打ち出しておいた方が良い。	
30	○ <u>日本人独特の特性が心の中に現れるようなストーリー</u> を伝えることが重要。新たな施設に一番求めているのは、そういう背景を持ったうえでのキラーコンテンツを提供することだと思う。(協力委員)	
31	○民間参入による夜間のイベントの実施も想定し、 <u>夜間も使用可能なインフラの整備</u> も必要。(協力委員)	
32	○方針①のゲートウェイ機能を、どの施設でどのように実現するかを具体的に書くことが非常に大きなポイントになると思う。 <u>飛鳥駅の再整備と高松塚のエリアをどのように繋げ、どう機能分担して、どのような施設を作るのかが非常に大事</u> になってくると思う。(協力委員)	
33	○行政側の立場からそれぞれの省庁の役割分担、責任の明確にしつつ、関係省庁・地元が連携し、整備を推進していきたい。(協力委員)	